

解 答

問1 (1) エ (2) 力 (3) ア 問2 ア 問3 F

問4 記号 エ 理由 アジア大陸からの冷たい北西の季節風が、対馬海流のうえで水蒸気を含み、越後山脈にぶつかって、多くの雪を降らせるから。

問5 (1) I 集落とその近くにつくられた田畠が点在している。

(2) 水運を利用した運送業や漁業で生計をたてていた集落。

(2) 江戸の大商人の資金力を利用したほか、干拓などの開発とともに周辺の村への影響が考慮された。

問6 エ 問7 (1) イ (2) ウ 問8 满州 問9 イ

問10 良い点 信濃川の河口にあるため、海運と内水運の中継地として発展できた点。

悪い点 信濃川の河口にあるため、上流から流れてくる泥や砂が港の底にたまりやすい点。

問11 (1) 新潟市 ウ

都城市 イ

(2) 大消費地に近いため、輸送費が安いうえに、新鮮な農産物を消費地に届けることができる。

解 説

問1 (1) ア 縄文時代の終わりごろに中国や朝鮮半島から伝わった米作りは九州北部から日本各地に広まりましたが、北海道や沖縄ではまだ稻作は行われませんでした。 イ 渡来人は、朝鮮半島や中国から日本に渡ってきました。 ウ 十七条の憲法が作られたのは7世紀のことです。

問2 イ Bの国は北朝鮮です。2002年、小泉元首相と北朝鮮の金正日総書記は、日朝平壤宣言に調印しました。しかし、国交は回復していません。 ウ Cの国は韓国です。日本の国際連合加盟は、1956年にソ連との間で日ソ共同宣言が調印されたことによって実現しました。 エ Dの国は中国です。サンフランシスコ平和条約が締結された時の会議に、中国は招かれませんでした。中国から上野動物園にパンダが贈られたのは、1972年の日中共同声明の調印によって、日本と中国の国交回復を記念したことでした。

問7 (1) 下田港は日米和親条約を結んだことにより開かれました。幕府が各国と修好通商条約を結んだ後、外国との窓口は、神奈川（横浜）港などに移され、下田港は閉港されました。

(2) アメリカとの間で日米修好通商条約を結んだ幕府は、それに続いて、オランダ・ロシア・イギリス・フランスとほぼ同じ内容の条約を結びました。これらをまとめて、安政の5か国条約ともいいます。

問8 1931年の柳条湖事件をきっかけに日本は満州を占領し、翌年満州國をつくりました。満州國の実権は日本がにぎっていたため、満州は日本の植民地とあまりかわりがありませんでした。

問9 ア 新潟水俣病（第二水俣病）の原因物質は、化学工場から流れ出た有機水銀でした。カドミウムは神通川流域で発生したイタイイタイ病の原因物質です。 ウ 水俣病の損害賠償問題については、現在も争われています。

エ 日本国憲法は現在まで、一度も改正されていません。環境権は憲法で直接定められていませんが、新しい人権として主張されている人権です。

問11 (1) 田原市は愛知県の渥美半島に位置する都市です。野菜・花・果物などの栽培がさかんです。なかでも電照菊の栽培は有名です。アは、花きの産出額が特に多いので、田原市になります。田原市から65kmの距離にある人口100万人以上の都市は名古屋市です。都城市は宮崎県の南部に位置する都市で、肉牛をはじめとした畜産業がさかんです。そのため、畜産の産出額が多いイが都城市となります。そして、ウが新潟市になります。

(2) 田原市は人口が約200万人以上の名古屋市まで65kmと近く、野菜・果物・花などを新鮮な状態で大消費地に出荷することができます。一方、新潟市は、人口100万人以上の都市まで235kmもあります。田原市は新潟市より農産物の鮮度や輸送費の面で有利になります。また、花きは単価が高いため、少ない耕地面積でも多くの農業産出額をあげられます。